

# 新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

## 第三十六話

### 「日新小学校と木の皮学校」(要約文)

#### ○日新小学校

新冠における学校のはじまりは、明治十八年まで遡ります。明治時代、徳島をはじめとし、広島、香川など諸県より新冠へ移住する人が多くなり、児童もしだいに増えていきました。そのため、早くから新冠に移住してきた人が尽力し、明治十八年に「日新小学校」を開校しました。場所は、現在の本町多目的交流センター付近にありました。この学校は、現新冠小学校の前身となります。

昭和九年には校舎の老朽化に伴い、校舎新築と同時に学校を現中央町に移転しました。昭和十六年、戦時下における国民学校奨励により、日新国民学校となりましたが、昭和二十六年には現在の新冠小学校と校名を改めます。昭和五十二年に現校舎に新築され、現在に至っています。

実に一三〇年を越す、新冠で最も歴史がある学校として、多くの卒業生を輩出してきました。

#### ○木の皮学校

新冠において、戦後に開校した学校として、太陽小学校、大狩部小学校、明和小学校がありました。その中でも、太陽小学校

は開拓者が力を合わせて建てた「木の皮学校」がそのはじまりとなります。

太陽地区は、戦後の御料牧場解放に伴い、満州や樺太開拓団をはじめとする方々が入植しました。開拓者達は、子ども達の良い教育を願い、自分達で学校を建てることにしました。開拓作業の合間を縫い、大変な苦勞をして建てられたこの学校は、屋根はヤチダモの木の皮、壁も木の皮、窓にはガラスがなく、腰掛や机も自前で作った、まさに「手作り」の校舎でした。今では考えられないような学校ですが、開拓者や子ども達は完成してとても喜びました。開校した昭和二十二年当時の児童数は二十六人でしたが、その後も入植者が増えて児童数も増加したため、授業を午前と午後に分けた二部授業を行っていたということです。

新冠町では、平成二十年に学校が統廃合し、九校あつた小学校が二校となりました。自分たちが通った学校が開校したことは嬉しいことですが、「あの頃」の思い出はいつまでも心の中に残っていることでしょう。



#### 「木の皮学校」の模型

当時を知る人からお話を聞いて制作されたもので、郷土資料館に展示しています。

### ～海や山 約束守ろう 水遊び～

1. 絶対に子供から目を離さない。
2. 水深が浅いから大丈夫とは考えない。
3. 天候を考えて、早めに切り上げよう。

「安全で楽しい水遊びをして、夏の思い出を作りましょう。」

消防署新冠支署

#### 火災・救急出動状況 ( ) かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数
6月	2件 (0件)	26件 (23件)
3年1～6月	4件 (0件)	154件 (119件)

  

交通事故発生状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
6月	1件 (0件)	0人 (0人)	1人 (0人)
3年1～6月	4件 (1件)	1人 (0人)	3人 (1人)

### 人のうごき

(6月末現在)

人口 5,290人 (前月比 - 9人)  
 男 2,592人 (前月比 - 6人)  
 女 2,698人 (前月比 - 3人)  
 世帯 2,757世帯 (前月比 - 3世帯)

町公式ホームページ

町公式フェイスブック

